



発行所 西清原郡 卷町公民館
編集人 保刈郡司
印刷所 昭和時報社

町財政の現状と 屋内運動場の建設について

卷町会議長 小林 十四三

中学校の第二期工事(屋内運動場と教室の一部)を施行しなければならぬ理由と工事施行の内容などについて先月の本欄で既に町長が申述しているし、更に別欄で河沿建設委員が工事の規模や教育の重要性を説いて今回の大事業に対して皆様の御協力をお願いしている。此の計画の概要は既に皆御承知の事と思はれるから重ねて申し上げないが、その後九月の臨時町会で学校建設関係の予算が議決され、十月十四日請負入札の結果屋内運動場が四百六十万円、水倉組、四教室と渡廊下が百二十七万円、吉田組にそれぞれ落札されて待望の工事が進められる事となった。

さて運動場は建てる事に決つたが本年度の町財政からみて此の事業が非常に困難であること、最近はやや交付基準の決定をみた平衡交付金が九月の更正予算で予定した六百万円から四百七十万円位(恰度運動場の建築費と同程度)が減額になる様で、一層困難さを増した事など、就て、皆様から充分な御理解を頂きその上凡ゆる苦難を忍んでの御協力がなければ、此の大事業も中途半端で頓挫しなければならぬ。

地方税制度が根本的に改革されて町村が町村民税をはじめ固定資産税などの独立した財源を与へられて(いろいろな点で充分とは言ひ得ない)自治体はそれ自身を運営してゆく為の費用を町村民の税金で賄つて、補助金や助成金などの名目で金を貰つて運営してきた為それ等の役人の鼻息をうかゞつて、全くその支配下に仕事をしてきたものが、漸く名の如く自治する姿となつたのであるから町村はそれらの税収或はその他の収入の範囲で運営の方法を工夫しなければならぬのである。

税法で定められた基準税率の限度迄の税金を賦課するか、幾分でも率を下げて減税するかは町村の施設の状態と運営のやり方である。異つてくるが、その運営を最少限度に切り詰めて新しい大事業をいなければならぬやうに運営してゆけるやうにしたのが今回の地方税制改革の眼目と思はれるけれど、その町村の貧富の差で税収入に多寡のある事は勿論、地域の広狭、施設の多少などで基本の税収入だけでは運営の出来ない町村が出てくるので、その足りない分に対して国が援助してやるぞ、(言ひ換

れば所得税の地方還元である)といふのが地方財政平衡交付金の制度である。

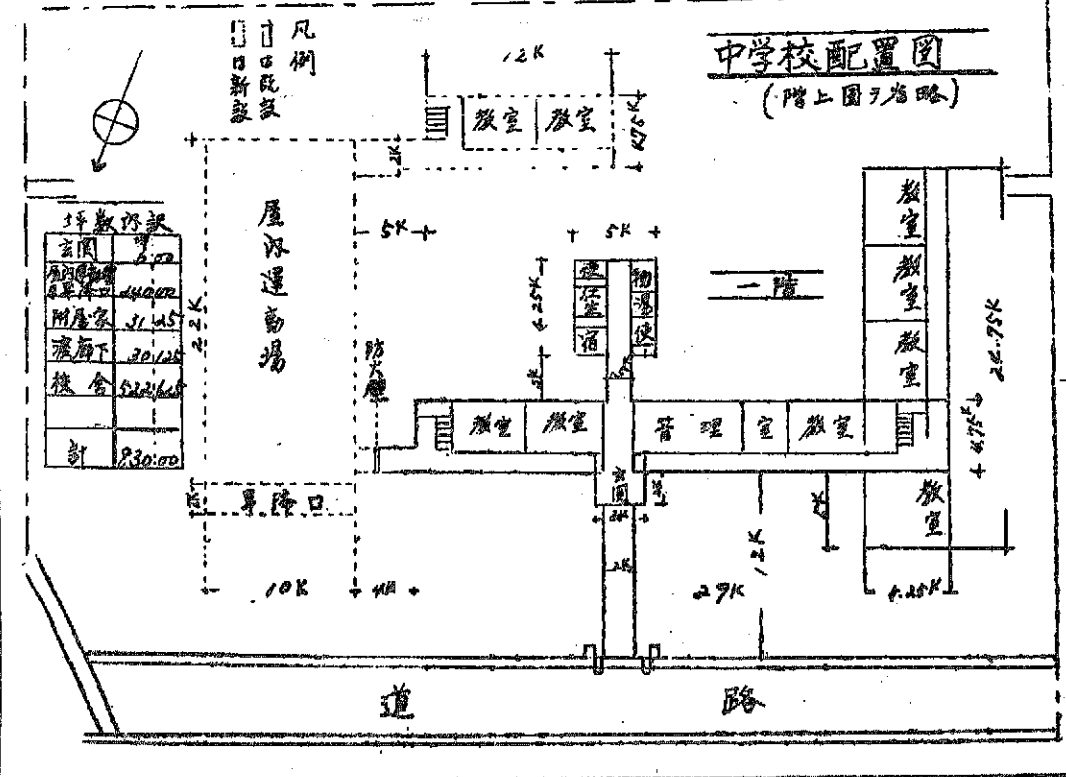
此の交付金について最近どうして必要である町村経費の全国平均(基本財政需要額といふ)の数字が幾り、それに基いて算出された巻町の財政需要額は一二、一〇六、二一七円で、一方税法で定められた基準税率で取り立てる税額の七割を基準財政収入額といつて、巻町のそれは一〇、〇八三、五九八円となり、需要額との差引不足額一、三〇二、六一九円が平衡交付金として交付される計算が出るので前述の通り四百七十万円に近いものが架空の数字になり、学校建設の前途が甚しく危惧されるのである。

財政上の細かい数字や、そのやりくりに就ては紙面の都合で省くが、結局交付金の減額で年度末になると四百万円位の金が足りなくなる事は明かだし、その上税金の滞納があれば、その分だけ赤字に足りない事になる。本年度の税金は第一期分が十月末現在で七割入つて三割が滞納、昨年度の滞納で本年度へ持越しした三百万円の内約三割入つて未だ七割が焦付いている現状からみて、本年の予算面にある総税収一千七百八十万円の三割位が来年度へ持越しされるのではないかと考へられるし、不幸にしてそんな結果になると交付金の減額と合せて年度末には九百五十万円位の現金不足を来すのである。これを補ふ為には長期の借金と一時借入(短期)の二つの方法があるが長期の借金は国の方針で目下の所では見込がないし、一時借入も多額の金は到底望めない。結局税金を期限迄に収めてもらう事をお願いし、又現在運動中の簡易保険の団体借入に充分協力して頂いて四百万円位の借入が

出来れば、今回の事業も予定通り完成させられるが、何れかの一方に欠かなくとも一月頃から凡ての支払を停止しなければならなくなる公算が極めて大きい。来年三月末頃の新聞に「巻町の不払・一般購入費四ヶ月・職員給料既に三ヶ月」といつた三面記事の種にはなりたくないものである。

以上簡単であるが町財政の一端を申上げて皆様の御協力を待つと同時に、今回の事業には役場を代表する工事監督に土田君、議会を代表する工事委員長に八木沢君と全くその職分を盡すに申分のない両君を配して立派な運動場と教室の出来上る事を太鼓判で証明し、此の機会にこそ一万町民挙げての御援助を呉々もお願いして筆を擱く。

中学校配置図 (階上園ヲ省略)



坪数表

玄関	2.00
廊下	4.00
倉庫	31.00
倉庫	20.00
倉庫	51.00
計	98.00

正月は新か舊か 葉書回答より

- 一、新正月のみの方がよい 佐藤 七二郎
一、新正月のみの方がよい 長野 正夫
一、新正月のみの方がよい 樋浦 正司
一、新正月のみの方がよい 鈴木 一雄
一、新正月のみの方がよい 平野 忠七
一、新正月のみの方がよい 長沼 ハル子

毎年の事ではありますが一月正月、二月正月と不満を感じながらも環境に支配されつつ今を続けて来ている新正月の問題を今月にとりあげました。この問題をいさゝか考えたいと思います
正月は
一、新正月(一月正月)のみの方がよい
二、旧正月(二月正月)のみの方がよい
三、従来通り
四、どうでもよい
五、分らない

我が校の完成

一週間の前倒りのすつきりと晴れた日足洗場の附近に前から少しづつ運んで来た木材が組立てられどようやら作業小屋でも出来そうなお様子だつた大勢の人手が木材を運んだり、つちをふたつてせつせと立ち歩いて



一、新正月のみの方がよい 遠藤 ミツ
一、新正月のみの方がよい 佐藤 從
一、新正月のみの方がよい 藤田 富美子
一、新正月のみの方がよい 田畑 正祐
一、新正月のみの方がよい 笹川 亀松
一、新正月のみの方がよい 藤田 シズエ
一、新正月一度に限りです
回答なし 長島 三郎
回答なし 有坂 善兵衛
回答なし 富樫 豊子
回答なし 伊豆田 新陽
回答なし 本間 豊助

運動場建築について

去年五月十八日、この新校舎に移転してから、はや一年半の月日が流れた。その当時の喜びはたゞえようもなく晴々しい気分が充満していた西に雲降弥彦を仰ぎ、さあがんばろう、はりきろう私達は希望に燃えて第一歩をふみ出したのである。しかしながら住みつきと運動場のない不自由さが目立つて来た。ガラスの破壊は日増しに多くなつていく幼い小学生とは異り力があり餘り成長期にある我々中学生の猛烈な運動欲はいかにも避け難いものであつて我々の激しさには先生方もあきれられた事と思ふ早くからの運動場があつたならばガラスの破壊も少なくて済んだらうし勉強の能率も今より以上上つたかも知れない野球部選手と競技部員、排球部員らの猛烈な練習から生れた賜である立派な成績をして応援歌も出来た。今日それに並び行卓球、籠球等の屋内スポーツの発展が望めなかつたのは残念である。殊に間もなく卒業する我々三年生は是非でも一日でもよいから新しい運動場で飛びまわつて見たいと念願して来たのである我々の待望の運動場建築がいよいよ実現しその起工式が十月十七日に行はれたのであるトラックが走りモーターが廻り大工さんの姿を見た時の私達のうれしさ丁度長い冬から目覚めて新緑の芽をふき出した草花と同じ気分だつたのである。町民の皆様の絶大な御援助によりまして、一般大の費用をもつて建築されるという事は全く喜ばしいとともに厚く御礼申し上げ感謝の念にたえぬ次第であります皆様の御声援に答えるためにも運動に勉強に努め、努力し、我々の名を高くめき校風を築き最後の義務教育の学校生活を飾りたいものと念願してやまぬ次第であります。



公民館だより

十月十三日午後七時三十分 第三回結婚講座 講師 巻高校 佐野 泰三氏
文学からみた昔ばなし 十月十七日午後七時三十分 第七回「ものをきく会」 講師 町追加更正予算について 講師 巻町会議長 小林 十四三氏
十月二十五日午後七時三十分 第九回討論会 農村経済について 講師 日農西蒲聯会支部長 原 謙
新潟日報社論委員 田村 高作氏
西蒲原郡地方事務所経済課長 中沢 惣吉氏
阿部 久氏
司会 池 治忠氏
十一月予定行事
ものをきく会(P.T.A.について) 第十回討論会(正月問題) 公民館定期講座十一月の日程
一、英語科
(1)英語会話 毎週月曜日 桑原 進氏
(2)基礎英語 毎週火曜日 高橋 山岸先生
二、普通科
社会(世界史)毎週木曜日 高橋 本多先生
三、教養科
四日時事問題(農村経済について) 定時制高校 乙川先生

十一月、絵の話

十五日 音楽の話 高校 丸山先生
(モーツァールの作品) 高橋 勝山先生
第12回巻町民運動会成績

Table with columns for various sports events (男子別、女子別、混合) and their results. Includes items like 200m, 100m, 50m, etc.

二十五日映画の話

(巻映画サークル推薦のもの) 講座は特記なき限り午後七時三十分九時三十分 場所は巻小学校

婦人会だより

年中行事の一つである秋の遠足を快晴の十月十八日観音寺に決行したこの朝前夜から案ぜられた天候もカラリと晴れて一同心も爽やかに駅に向ふ。折角計画した汽車も丁度日曜日の為かガソリンカーが超満員でやむを得ずバスに変更した。晴れ切つた大空の下に点々と切り取られた稲田の跡がくつきりと目につくバスの織りなすリズムに乗つて恰も子供の遠足の如く嬉々として戯れ打舞じつ、平坦なる弥彦街道を驍に進む。途中甚句で親しい岩室、石瀬を過ぎてやが、静かな部落に点在する旅館、長生館にいた時は早や十一時近くを過ぎた。明け放された清らかな広間に先づ旅装をたく、先着順に温泉にひたり乍ら軽やかな疲労を治す。談笑の中に新鮮なるお魚に舌鼓を打ちつ晝食を終る。午後は楽しいレクリエーションで或は歌い又は踊りのお稽古さしてはトランプに合唱と仲々の賑はいに途に隣りの座敷からも顔を出す有様、一日全く童心に返つて日頃の忙さを打ち忘れ所謂俗塵を洗ふの感があつた。三時頃一日の思出をおしみつ、自由行動をとる三々五々或る人は神社参拜に或は石薬師の参詣にと別れた。澄み渡つた秋空に弥彦角田の霊峰を仰ぎ蒲原平野の秋の稔りを讀み、心行くまで行楽の秋を味はつた。暮れ易い秋の陽のたそがれ近く列車の人となり家路をさして急いだ樂しかつた今日一日の思出話を折返を賑はした (参加人員三十四名)

農家だより

去る十月二十五日新潟市自治連合会館に於て労働省より田中婦人課長を迎ひ婦人問題連絡調整会議が開催されました。議題は農村婦人の負担を軽くする為の具体策について、農村婦人の生活実情について、意見が交され次に婦人の負担を軽くする為の具体策について討論が続けられたのであります。その結論として次の様な事が合議されました。(一)農業経営の合理化即ち土地改良及び機械化より農業運動を推進いたさねばならない。(二)しかし男子側を最初に啓蒙しなければ婦人の啓蒙運動の完全は計られぬ。(三)農協を出来るだけ多くつ事、農村生活に於て男女両性の機能によつて完全な営みを続けられるのであるから村内における合等には女子だけとか男子だけとかに限らず総ての合等には打掃つて参加する事。(四)農業協同組合の存在を過去農業会より一歩飛躍した農村生活における研究機関である様努力する事。(五)家族制度における嫁と姑の関係に於て農村においては非常に強い圧力である先づ家庭における民主化を計る様にすること。(六)人口過剰問題について産別制限の必要を認めそれは保健所、優生結婚相談所関係の指導を仰ぐ事。(七)農村に於ける啓蒙教育の必要を叫ぶ今日その農務にたづさわる指導者自身は一層農村の実情研究の上でそれの土地に則した啓蒙教育を施す事。

教育欄

愚考一つ

徳永正定

「親馬鹿子畜生」余りいい言葉ではないがこんなことがいわれて来ている。同じようなことが教師対児童に或いは教師対生徒についてもいわれるのではないだろうか。

私たちは教師として、毎日児童と共に生活をしているのであるが、案外に児童を知らないでいることが多し。余りにも馴れすぎていることがその原因でもあるであろう。

新教育が個性尊重を叫びだし、個性に徹する教育に重点を置き、画一的な型に入れる教育に反対して来、私たちは前よりも児童を知ること、努力して来ている。然し未だに十分な研究を積むことは出来ず、「親馬鹿子畜生」的な現象を見出すことが時々あるわけである。

私は今小学校の三年生を担当しているのであるが、二年生の時と比べると相当の成長、いや格段の差違を遂げているのであるが、どうしても二年生並の児童観を仲々捨て切れなかつた。余りに子供扱いをした指導をやつて、子供達がそつぽむいて始めてあつた三年生だつたなというふうな反省をすることが時々ある。

教育心理学や、一般心理学等の一通の一般的な三年生の児童の概観は把握しているつもりであつても仲々もつて個々の児童の把握は難しい。特に難かしいのは無口な内向性の児童を知ることである。そこで私はこんな仕事を続けて児童研究の一つの場にして行っている。それは毎朝教室に入ると前日の日記を書かせているのである。

勿論五十六名分の日記を短時間に

検閲することは出来ないで、毎日数名の児童に自分の書いたものを読んで貰うのである。内容は自ら児童の考えを表し、児童の生活を知ることが出来るのである。大人の世界で文を書くという生活は割合に縁遠い。毎日の日記を眞面目に書いていく人はとにかく少いと思うし、余程の人でない限り毎日手紙を書く人も勿論ないと思われるのである。日記を宿題にして家で書きなさいといつても、余程眞面目に家庭でも注意して下さる所の児童でない限り続けることは難しい。そんなことも考へて日記を毎日学校で書くことに決めたのであるが、現在私はこんな方法で児童研究を目指し、併せて文字を書く生活を続けさせている訳なのである。

これはほんの児童研究の末端の一つの仕事に過ぎないのであるが私達はこれの外に色んな機会を捉へて児童を知ること、努力をしていく。然し、それでも尚且つ私は児童を知ることが出来ないのである。

それは学校という組織された中で児童の姿は或る程度知ることが出来ても、家庭に於ける児童の位置或いは児童の生活がうまく把握し得ないのである。これは是非とも家庭の協力を必要とするのであり、一番最初に誓った「親馬鹿子畜生」という言葉を追放するためにも是非とも教師と一体となつて児童研究をして戴きたいと思つてゐる。そうでないと私たちは共々子供達に教育をしてやらねばならぬ。私たちが考へて来たものは兎に角、私たちの考へで児童を理解しようとする。この事は極めて危険なことであり、児童自身には迷惑の上もない事なのである。

ある先生がこんなことをいわれた

ことがあるのであるが、私は大へん考へさせられたのである。ひよつとすると大人でもそういう風に考えられる傾もないわけではないのであるが、それは次のようなことばである。「児童には、自分のために不利益なことは全く正しくないことだと考へている。子供の嘘は大人の嘘と異つた意味を持つてゐるのではないか」と、勿論全ての嘘に対して通用する普遍性は断言出来ないが、一面の眞実性を感じ得るのである。

何れともあれ、全校PTA結成の時機も到来したのであり、今後とも益々父兄教師一体となつて児童の幸福なる生活を築き上げるために協力し合ひ、努力していきたい。

そしてそのために先づ児童を知りその上での指導の方向を求めていきたいと考へ貴重な紙面的一端を戴き愚見を申述べ御批判を得たいと思ひます。

二千冊突破運動

寄贈圖書

- 長谷川 清氏より 大西郷正傳一二巻 下中弥三郎著
- 民族日本歴史(建国篇) 白柳 秀湖
- 民族日本歴史(王朝篇) 〃
- こぼと会より マダム、キユーリ 高橋 一雄
- こども聖書 蘆谷 蘆村
- トムソーヤの冒険 マークトウエーン
- 孤兒ネリリ ドストイェーフスキイ
- 初旅 探原健二郎
- ハムレット 鷺山第三郎
- マクベス 〃
- ジェリヤスシーザ 〃

リヤ、テムベスト、冬物語、ウニスの商人	第四回「文化まつり」日割	十一月三日午前九時	町民運動会	町	中学校
合唱	山びこ会	十一月三日午前十時	合唱	高校(南校舎)	
十一月五日午前九時	町内東西	野球 野球部	北海チーム	野球 野球部	中学校
郡選手権	排球 排球部	郡選手権	庭球 クラブ	庭球 クラブ	高校(北校舎)
十一月十日午後七時	長唄とおどり	長唄研究会	十一月十二日午前九時	郡選手権	小学校
十一月十六日午後七時	秀葉会	十一月十七日午後七時	婦人の夕(銀の星)	婦人会	小学校
十一月十七日十八日十九日	午前九時	安養寺	書画展	眞木書道会	安養寺
十一月十八日十九日	午前九時	専福寺	華道展	谷町華道会	専福寺
十一月十八日十九日	午後七時	藤見庵	演劇	自立巻劇研	藤見庵
十一月十八日十九日	午前九時	妙光寺	日本画展		妙光寺

新入庫

- 菊と刀 ルースベネディクト
- 二十五時 CVゲオルギウ
- 宮本武蔵全十一巻 吉川 英治
- 最近の農地問題解説2 佐藤 正二
- 世界の昔ばなし 石田英一郎
- 社会生活 加茂 儀一
- 人類文化発達史 谷崎潤一郎
- 將軍滋幹の母 毎日新聞社
- 中尊寺と藤原四代 田崎 花馬
- 泉道は遙るかなり 大河内一男
- 学生と読書 木俣 修
- 私たちの歌集 井上 四治
- 蜜蜂の話 宮原晃一郎
- 愛の一家 鈴木 敬信
- 星の話
- 世界文学全集
- ジョージ、エリオット集
- 続バルザック著 バルザック
- 日本の芸術 プールトタフト
- 日本の建築 プールトタフト
- 日本の名作選 山本 有三
- 地獄 アンク、バルビュス
- 科学事典 岩波書店編集部
- 大百科事典全三十巻 下中弥三郎(平凡社)
- 編集後記 ひと雨ひと雨山の秋も色あせて流れる雲にも静かなる冬の気配を感じる。その逝く秋を惜しむかのように三日を中心として華麗なるスポーツ文化の祭典が繰りひろげられようとしている。この祭典の前に郡内一を誇る巻中学校屋内運動場の建設を一日も早く待つ可憐なる児童たちの声、何んのだわりのなげれば陰謀もなくかけひきもないこの作文熱、これが建設に協力したいものである。